

実施方針に基づき、以下の4つのテーマに沿った取組を推進し、その成果を「新博物館の活動と運営 VOL2 (平成 22 年度検討結果)」としてまとめ、「みんなでつくる博物館会議 2010」や「こども会議 2010」(文化庁事業として実施)をはじめ、さまざまな機会を通じて、意見交換し、博物館づくりにつなげます。

(1) 取組テーマ1 参画のしくみづくり

- 項目 ○参画のしくみ・メニューの検討
○参加・参画へのきっかけづくりの取組
○博物館への参画が深まるための取組

具体的内容 ①検討—博物館への参画、協力体制を構築するための整理、検討
②試行・実践—参画のしくみづくり

- ・ みんなでつくる博物館会議 2010
- ・ こども会議 2010
- ・ 三重県立博物館サポートスタッフ事業

—新博ティーンズプロジェクト (文化庁支援事業)
—博物館きわめるプロジェクト (文化庁支援事業)
—県民参画による展示設計づくり
—現県立博物館実施事業(移動展示、フィールドワーク等)

(2) 取組テーマ2 連携が進む環境づくり

- 項目 ○対象別(県内博物館、大学・研究機関、企業・関係団体など)の方針検討
○県内博物館をはじめとした多様な主体との対話
○試行的な連携事業の実施

具体的内容 ①検討—連携相手別の方針の検討
②試行・実践—県内博物館との連携事業(文化庁支援事業ほか)

- 三重大学等との連携事業(シンポジウムの共催、共同研究ほか)
- 地域の団体との連携事業(しぜん文化祭への取組ほか)
- 学校との連携事業
- 文化と知的探求の拠点との連携事業 ※文化交流ゾーンの形成
- みんなで進める調査事業(ミエゾウ足跡化石調査ほか)

(3) 取組テーマ3 評価のしくみづくり

- 項目 ○評価のしくみの調査・検討
○事業を通じた参画型評価の試行

具体的内容 ①検討—評価のしくみの調査、検討(先進的取組に学ぶ、課題整理)
②試行・実践—運営方針(素案)の作成及びそれに基づく検討

- 「新博物館の活動と運営 VOL.2」のまとめ
- 移動展示等での県民参画型の展示等評価の試行

(4) 取組テーマ4 魅力的な博物館づくり

- 項目 ○県民アンケート・モニター調査の実施
- 県民参画型による魅力的な博物館検討
- 魅力的な新博物館の発信

具体的内容 ①検討—魅力的な博物館に必要なことの検討
—新博物館の発信についての検討（広報方針）

②試行・実践—県民への説明と意見集約（多様な機会を活用したアンケート・モニター調査の実施）※認知度向上と県民意見反映
—誰もが利用しやすい博物館に向けた取組(ユニバーサルデザインの視点からの取組ほか)
—各種寄付や市場公募債など

(その他の取組—新博物館を構築するための基本的な取組)

上記の4つのテーマによる取組のほか、資料収集や調査研究の方針など博物館として基本的に明確にしておくべきことや整理しておくべきことについて検討します。検討の主な内容については、「新博物館の活動と運営 VOL2（平成22年度検討結果）」に掲載して、県民・利用者のみなさんへの報告等を行い、今後の取組に生かしていきます。

とりわけ、平成22年度においては、夏頃をめどに、「運営方針（素案）」をまとめ、これをもとに、今後、関係機関や県民・利用者のみなさんと議論を深めながら、順次必要な事項を決定し、平成25年度をめどに全体を新博物館の「運営方針」としてとりまとめます。

※運営方針（素案）構成等については、以下のとおり

運営方針(素案)について

1 目的

新県立博物館は、「ともに考え、活動し、成長する博物館」をめざしており、県民・利用者のみなさんや地域の団体、関係機関との協創・連携により、多様な人やグループなどが持つ力を総合した活力ある博物館運営を行うための基本的な考え方と方針を明確にする。

2 構成案

(1) 新県立博物館の運営の基本的な考え方

(2) 運営体制

- 運営形態
- 職員
- 組織

(3) 開館形態

- 開館日
- 開館時間
- 利用料金

(4) 県民・利用者のみなさんとともに運営を進めるためのしくみ

- 運営協議会などのしくみ
- 評価
- 支援組織

(5) 外部人材の活用のためのしくみ

(6) 他の機関、団体との連携のためのしくみ

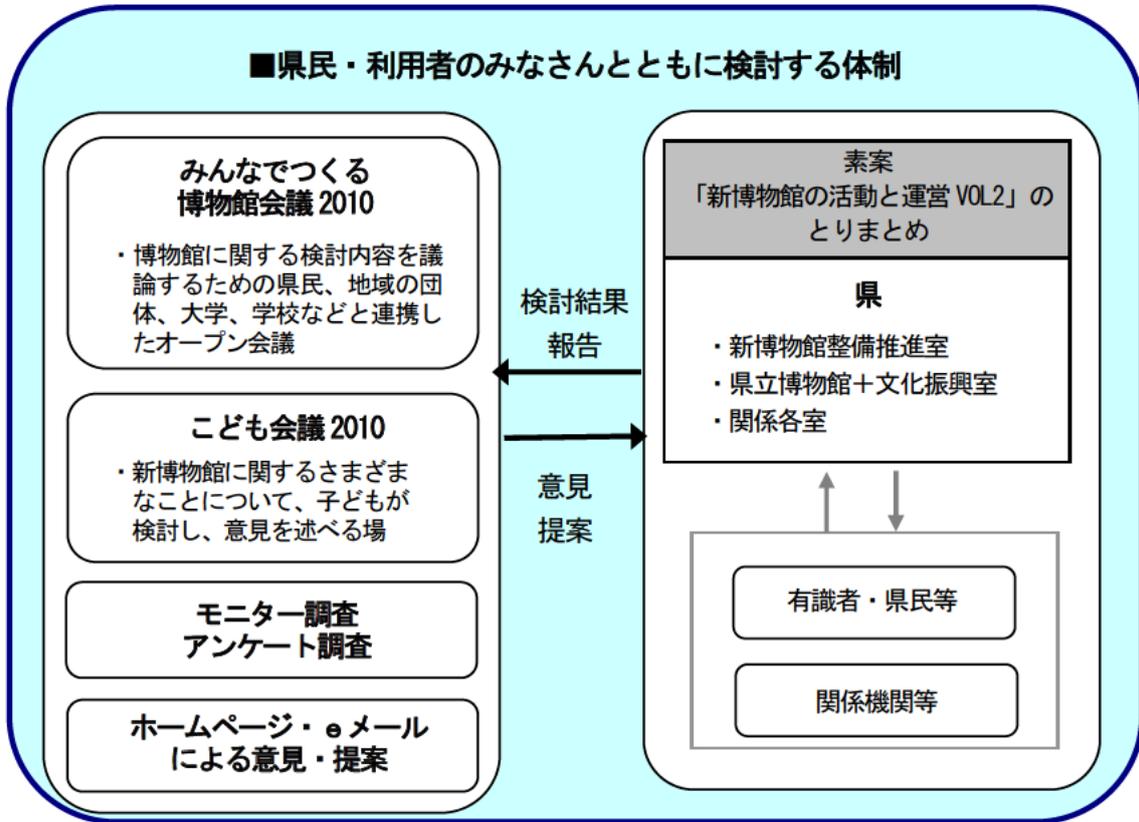
(7) 博物館の活発な利活用のための取組

- 広報の充実
- 博物館の魅力や楽しみを高めるサービス展開
- 多様な利用者への配慮

(8) 持続的な運営のために

- 多様な外部資金の調達、活用
- 地元地域との良好な関係づくり
- 県内企業と連携した運営

【平成22年度の取組と検討体制のイメージ】



試行・実践
↓ ↑
意見・要望の収集
結果のフィードバック

